

2022年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 地域科学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ _____ ）
出題の意図	<p>問1：本設問は、地域社会学分野から2問、社会生態学分野から2問、人文地理学分野から2問を出題しており、各分野の基礎概念を用いて専門的な議論を行う能力や、専門的な知識を現実問題に応用する能力を見る。</p> <p>問2：本設問は、社会生態学、地域社会学、人文地理学などに関する基礎的な専門用語の理解度を確かめ、さらに指定された文字数で専門的な見地から明確に記述する能力を見る。</p>

2022年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 地域科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 4枚を配付する。

問1は、小問1問につき解答用紙1枚を使用すること。問2は小問5問で解答用紙2枚を使用すること。なお、選択した小問の番号を解答用紙に記すこと。また、各問では図を用いて説明を行ってもよい。

問1 下記の設問から2つ選択して解答せよ。

1. コンパクトシティの定義について検討し、その形成における公共交通の意義と課題について述べよ。
2. 「外来種」と「外来生物」の違いについて詳細に説明せよ。
3. フィルムツーリズムやメディア誘発型観光などと称される観光形態の特徴について説明し、ロケ地となった場所にみられるメリットとデメリットをその根拠や具体例を示しつつ論じよ。
4. 自然保護や環境保全をめぐるっては、社会の中でさまざまなズレや齟齬が生じやすい。何らかの事例を挙げながら、なぜズレが生じやすいのか、また、そのズレをどうすればよいのか、論述せよ。
5. 質的データを収集するための代表的調査手法であるインタビューについて、その構造化の程度や聞き手のはたらきかけ方などに着目して、どのようなタイプがあり、それぞれどのような特徴を持っているかを説明せよ。
6. 生物多様性と生態系サービスの価値をよりわかりやすく説明するために経済的視点を導入することに対して、その効果と問題点について具体例を用いて説明せよ。

問2 次の用語から5つを選択し、専門的な見地からそれぞれ200字程度で説明せよ。

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 1. モビング | 8. 生物学的防除 |
| 2. 確証バイアス | 9. 地溝帯 |
| 3. メソプレデター・リリース（中間捕食者の解放） | 10. 中範囲の理論 |
| 4. 地域づくり | 11. 伝統的生態学的知識 |
| 5. 環境正義（environmental justice） | 12. SDGs |
| 6. 浸水想定 | 13. 田園回帰 |
| 7. 人文主義地理学 | 14. 渡瀬線 |
| | 15. 歴史的環境 |